

## 第4回城東学園小中一貫校整備検討委員会 概要

日時	令和6年11月21日(木) PM7:00~PM8:40
場所	大東北公民館 集会室
出席者	委員 15名 (欠席者7名) 事務局 教育政策課長、学校再編室長、学校再編係長、学校再編係主任 地域計画建築研究所4名
内容	
1	開会
2	委員長あいさつ
3	前回の振り返り (1) スケジュール確認 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料1-1</span> 、 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料1-2</span> (2) 前回議事録の確認 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料2</span>
4	報告事項 (1) 生徒・教職員・保護者のアンケート集計結果について <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料3</span> (2) 第2回地域説明会について <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料4</span> (3) ご意見募集フォームに寄せられた御意見について <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料5</span>
5	協議事項 (1) 整備コンセプトを考えよう！【ワークショップ形式】 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料6</span> <3グループに分かれてのワークショップ> <発表> 【土方地区】 ・郷土愛、学校は楽しくなくてはいけない。安全という3つのキーワードを整理。先に最終形態があったので難しかった。『城東を愛し、未来をたくましく生き抜く子どもを育む、安全・安心で楽しいがあふれる学校』 (佐東地区からのコメント) ・郷土愛は素晴らしい、それぞれの歴史をもつ3地区を愛するということが大事。楽しいという思いがないと病気にもなってしまう。安全も大切なキーワードだと思った。 (中地区からのコメント) ・安全というのは大事だと思う。子どもの通学についても通学路は必要。学校でいろいろなことを学ぶ際には事故などないことが必要。我々にはなかったが良いキーワードだと思う。 【中地区】 ・育むというキーワードが多く出された。人を育む学校、人にやさしい心を育む、生きる力を育む、城東から未来にはばたく学びの学校、生きる力を育む、報徳の心を育むなど、育むというキーワードが出された。そうしたことから、『みんなとのつながり』『城東の歴史』『地域と共に学ぶ』『未来へ生きる力』『わくわくする』などにまとめた。 (佐東地区からのコメント) ・地域とともに学ぶという言葉は印象に残った。子どもが大人から学ぶだけでなく、大人も子どもから学ぶこともある。良い言葉だと思った。 (土方地区からのコメント) ・城東の歴史ということで、土方小学校のプールはお城みたいになっているが、そうした学校のイメージが浮かんできた。 【佐東地区】 ・センテンスがたくさん出た。中でも未来、ひとりひとりがといった言葉を大切にしたい。つながるという言葉も、歴史、人と人、世代などをつながるという言葉も大事。楽しく、スマイルなどもキーワードとして出された。子どもたちにもわかりやすい言葉を使っていきたい。報徳などは難しいのでわかりやすくまとめていきたい。世代を超えて、いろんなものがつながり、みんなが楽しく未来を夢見れる言葉をつくっていきたい。

(土方地区からのコメント)

- ・楽しい、わくわくなどは大切と思った。地域、人がつながるといことは共感できる。難しい言葉を使わないのも重要と思った。

(中地区からのコメント)

- ・わかりやすい言葉、子どもがイメージしやすい言葉が良いと思った。たくましくという言葉は、素敵だと思った。

## (2) 新しい学校の整備コンセプトについて【ワークショップ形式】 資料 7

<3 グループに分かれてのワークショップ>

<発表>

### 【佐東地区】

- ・学校の学びの場についてはたくさんの意見が出た。教職員については、先生の休憩の場が取れないといった意見は多くあったので必要に思う。デジタル対応、先生のためのカウンセリングは必要。職員室は広く、子どもが行きやすいようにしたい。地域の視点では歴史を残し、地域の行事にみんなが参加できる場所が欲しい。地域の方の学びの場も必要との意見もあった。防災・安全という意味では、防災用品の保管場所、空調設備なども必要との意見があった。保護者の立場では、駐車場を広く、DXの活用、放課後児童クラブ等の放課後の子どもの安心の確保に関する意見が出ている。

(土方地区からのコメント)

- ・教職員の大変さは聞いている。子どもだけでなく先生への配慮を考えて、環境づくりが大切。

(中地区からのコメント)

- ・子どもの学びの点では先生たちの精神的な部分も安心な職場であることが重要。カウンセリングはとても良いと思う。

### 【中地区】

- ・交流する場として、みんながつながる食堂、畑やビオトープの意見もあった。居心地の良い図書館についても意見があった。職員にとってもアットホームな休憩所、民営のプールなどもあればよいと思う。守衛さんがいれば先生たちも安心してきてよいと思う。充実したICT環境などの意見も出された。地域と共にあるという点では、歴史、スポーツ施設との連携、空調の充実、防災センターとしての拠点といった意見もあった。保護者では、売店には意見が多かった。体力向上に役立つ面白い遊具や学童保育の意見もあった。

(佐東地区からのコメント)

- ・地域の方が校内に入ってくるかにもよるが、先生に負担が掛かるのは好ましくないと思うので、守衛がいるのは良いと思った。

(土方地区からのコメント)

- ・学童保育、守衛の話は印象に残った。安全管理と地域を大切にしたいという意見が良かった。

### 【土方地区】

- ・地域の学びの場所として図書館の意見はあったが、どのように開放するかも重要となる。体育館の空調は絶対必要だと思う。教職員についてはランチルームが欲しいとの意見もあった。休憩ルームなどもあってほしい。地域については、交流センターという意見があったが、広い多目的室、バリアフリー、企業訪問などの意見もあった。保護者からは、草刈しなくてよい運動場、広い駐車場などの意見があった。

(佐東地区からのコメント)

- ・あったらいいなという機能もあるが反面課題もあるということもわかった。登下校も同時に安心を考えないといけないと思った。

(中地区からのコメント)

- ・草刈しなくてよい運動場は印象に残った。ランチルームがあれば、先生の休憩などにも使うことができるのは良いと思う。広い部屋で交流できる場所は、なかなかないので子どもが交流できる場所は重要と思った。

## 6 今後の予定について

(1) 委員会だより (第4号) の発行について 資料 8

## 7 閉 会